

(1) ※青森県第1区の区域は、青森市、むつ市、東津軽郡、上北郡(野辺地町、横浜町、六ヶ所村)、下北郡です。

## 誰にでもチャンスが 平等にある社会を求めて

昭和32年 出稼ぎと漁師家庭の次男として  
青森県北津軽郡中泊町(旧小泊村)に生まれる  
現在は青森市に家族とともに在住  
(青森市に住んで15年 自宅 新田2丁目)

昭和48年 木造中学校卒業  
昭和51年 県立木造高等学校卒業  
昭和53年 拓殖大学中退  
青森県実業団剣道連盟副会長  
県立青森商業高等学校PTA副会長  
青森農協正組合員

昭和62年 小泊村議会議員初当選(3期)  
平成11年 青森県議会議員初当選(2期)  
平成26年 衆議院議員初当選(1期)  
(平成17年衆議院選挙初挑戦から、  
国政5度目の挑戦にて、約10年の  
浪人生活を経て比例復活当選)

平成29年 第48回衆議院選(新1区)に立候補、  
再挑戦へ

令和2年 立憲民主党青森県第1区総支部長、  
県連代表代行



## コロナ対策 普通の生活を取り戻すために

- ・自宅検査(無料)によるセルフケアで家庭内感染を抑制
- ・国産のワクチン、治療薬の開発、承認を加速
- ・保健師の増員など、保健所機能を強化
- ・ワクチンパスポート(仮称)で自粛生活から解放

## 経済・地方 消費がつくる新しい経済成長 ポストコロナは地方から

- ・消費税5%に減税  
大企業・富裕層には応分の負担を求める税制改革
- ・戸別所得補償制度の復活 収入保険制度の見直し
- ・再生可能エネルギーの推進  
低コスト高性能の蓄電池・燃料電池の開発
- ・同一労働同一賃金の推進 最低賃金時給1000円以上で全国一律化
- ・地方所在の企業法人税に軽減税率を適用し、東京一極集中の是正

## 子ども・暮らし 子ども最優先 生活と命を守る

- ・学校給食費や教材費、修学旅行費を無償化し、義務教育課程の負担をゼロ
- ・児童虐待やいじめを受けた子どもたちの保護と防止対策の強化
- ・出産育児一時金を引き上げ、出産に関する費用を無償化
- ・年金・医療・介護の拡充  
ベーシックインカム(新しい社会保障)の議論の推進
- ・雪対策のための自治体への財政支援の強化

すべては、  
あおもりのために

青森市に住んで15年  
自宅 青森市新田2丁目



立憲民主党公認

# ますた世喜男

比例は立憲民主党へ 升田世喜男選挙事務所 青森事務所 〒030-0843 青森市大字浜田玉川1187-4 TEL.017-721-3799 FAX.017-775-2377  
むつ市北事務所 〒035-0062 むつ市仲町15-19 TEL.0175-31-1114 FAX.0175-31-1088

なにより、いのち。ぶれずにつらぬく

さいとうみお とともに

## 新しい政権を

「コロナの感染拡大で病床がひっ迫し、自宅で亡くなる人も」「いのちの源の米の価格が暴落し、農家が苦境に」——安倍・菅政権を引き継いだ岸田政権では、くらしは守れません。子ども2人をもつ母として、声をあげ、政権交代をめざします。青森1区は私・さいとうみおに一票を託してください。

1980年、旧尾上町生まれ。弘前中央高校、釧路公立大卒業。日本民主青年同盟青森県委員長をつとめ、現在、党県書記長。青森市新城在住。夫(赤平勇人青森市議)と子2人。

比例代表は **日本共産党** とお書きください。(個人名は無効です)

憲法無視、強権、腐敗… 自民・公明政権をチェンジ

### 1 弱肉強食・自己責任の政治をかえて いのち・くらしを最優先に

- ケアを支える政治に
  - ・医療・介護・保育などケア労働者の待遇改善
  - ・病床削減計画を中止
- 人間らしく働ける職場に
  - ・中小企業支援と一体に、最賃時給1500円に
  - 税金の不公平を正し、消費税を5%に

コロナ封じ込めへ

- 検査拡充
- 医療・宿泊施設の強化
- 事業者への補償、生活支援の実施

### 2 省エネ・再エネで 気候危機打開

- CO2削減目標を高く  
2030年度までに最大6割削減(2010年度比)
- 石炭火力と原発はゼロに  
核燃サイクルから撤退

### 3 ジェンダー 平等社会へ

- 男女の賃金格差解消  
企業の実態公表と是正計画を義務化
- 選択的夫婦別姓の実現
- 同性婚を認める法改正

### 4 憲法9条 生かした 平和外交

- “アメリカいいなり”から抜け出します。
- 核兵器禁止条約に参加

【さいとうみお選挙事務所】青森市緑一丁目1-26 017(762)0335

高橋ちづ子(比例代表)を今度も国会へ。そして東北初の2議席へ。大激戦です。お力をお貸しください。

＜わしい政策は  
**JCP**  
で検索



さとうみお

日本共産党

## 江渡あきのり 皆様への約束

### 1 新型コロナウイルス感染症対策と 経済の再生地域産業の振興

- GO TO キャンペーンで地域経済を支援します。
- 安全性・有効性の確認を最優先にし、全国民へのワクチンの提供を進めます。
- 全ての小中学生に対して1人1台のIT端末の導入をします。
- 2050年までに、脱炭素社会の実現を目指します。
- 女性が働きやすい環境づくりに取り組む企業を支援します。
- 地域資源を活用した商品開発や付加価値向上を推進する新たなチャレンジを支援します。
- 中小企業・小規模事業者の生産性向上に向けた取り組みを支援します。

### 2 強い農林水産業と 美しく活力ある農山漁村 農林水産業の振興

- 需要に応じた生産拡大を進め、農林漁業者の所得アップ、食料自給率・持久力の維持向上に取り組めます。
- 家族農業経営も含め、中山間地で頑張る多様な農業者を全力で応援します。
- 後継者不足解消にむけ、新規就業環境を整備し、法人経営や集落営農など多様な担い手が共存できる体制づくりを進めます。
- スマート農業とイノベーション創出・技術開発を推進します。
- 2025年に2兆円、2030年に5兆円の農林水産物の輸出額目標を達成する為、農林水産業改革を進めます。

### 3 安心できる 社会保障の再構築

- 日本の最大の課題である少子高齢化、人口減少の克服
- 不妊治療への保険適用を実現します。それまでは、現在の助成措置を拡大します。
- 認知症の方と家族を支える仕組みづくりに取り組めます。
- 医師の地域偏在、診療科偏在に適切な医師確保対策を推進します。
- 「介護離職者ゼロ」の社会を目指し、介護従事者のさらなる処遇改善や人材確保、介護現場の生産性向上を進めます。

### 4 安全保障

- 領土を守る 日米同盟を軸としながら、基本的価値を共有する国々との戦略的外交の展開と揺るぎない安全保障政策で、国民の生命と国益を断固として守り抜きます。
- 農林水産業を守る 日本の食料自給率がカロリーベースで38%の現在、食料自給率の向上を目指し、良質で安定的な供給が出来るようにします。
- 暮らしを守る 国家の基本である教育の再生や高等教育の無償化、医療・福祉・年金・児童福祉の充実など安定した社会保障制度を構築します。
- エネルギーを守る 再エネを最大限導入し、安全最優先で原子力政策を進め、未来を見据えた資源・エネルギーの多様で多角的な供給構造を確立し、地球規模での安全・安心なエネルギー供給体制の普及拡大に貢献します。

### 5 国土強靱化 災害に強いインフラ整備

- 堤防や遊水地の整備、大雨予測の精緻化による河川の洪水被害の防止や軽減を図ってまいります。

元氣な復活へ 再経済

新型コロナウイルスによる未曾有の困難から、青森県民の暮らしを、雇用を、事業を、守り抜くために、我々自由民主党はスピード優先で次々と支援策を打ち出しました。

県民一人の暮らしを守るために、パートアルバイトでも申請できる休業支援金給付金収入が少ないうち子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金、高等教育の就学支援新制度、雇用調整による休業補償など。さらに、県経済の核を担う中小企業へは、雇用調整助成金、小規模事業者持続化補助金、ものづくり商業サービス生産性向上促進補助金、IT導入補助金、産業雇用安定助成金、医療機関等の感染拡大防止等の支援なく、矢張り早くに支援策を打ち出しました。逆境に強い青森の民力と国の支援が一丸となつて、未曾有のコロナ危機を打ち破り、元氣にあふれる青森を復活します。



えと  
江渡あきのり

自民党公認

江渡あきのり選挙事務所  
〒030-0963 青森市中佃 1-4-17  
TEL 017-752-1077

【主な略歴】

- 青森県立青森東高等学校卒業
- 日本大学大学院法学研究科 公法学専攻修了

【経歴】

- 光星学院八戸短期大学非常勤講師
- 社会福祉法人至誠会理事長
- 内閣府大臣政務官
- 防衛副大臣

【現職】

- 自由民主党青森県支部連合会長
- 衆議院憲法調査会幹事
- 原子力問題調査特別委員会筆頭理事

【その他】

- 自由民主党国会対策副委員長
- 自由民主党副幹事長
- 防衛副大臣
- 衆議院安全保障委員長
- 防衛大臣兼安全保障法制担当大臣
- 自由民主党安全保障法制整備推進本部長
- 自由民主党政務調査会代理
- 自由民主党総務会長代行
- 衆議院原子力問題調査特別委員長

# 衆議院議員 総選挙

## 最高裁判所裁判官国民審査



### 投票日

# 10月31日

### ●投票時間

## 午前7時～午後8時

ただし、市町村の一部の投票所については、投票時間を変更していますので、ご注意ください。

## 投票の方法

### ①小選挙区選出議員選挙

投票用紙(水色)には、「候補者の氏名」を記入してください。 ※候補者の氏名以外の事を記入すると無効になる場合があります。



### ②比例代表選出議員選挙

投票用紙(ピンク色)には、「政党等の名称又は略称」を記入してください。 ※政党等の名称又は略称以外の事を記入すると無効になる場合があります。

### ③裁判官国民審査

- 投票用紙(うぐいす色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官について、氏名の上の欄に「×」を書いてください。やめさせなくてもよいと思う裁判官については、何も書かないでください。
- 投票用紙に○、◎、□、レ、◆等を記載するとその投票は無効となります。
- 投票したくない人は、投票用紙を受け取らないでください。
- 投票用紙を受け取った後でも、投票したくない人は、投票箱に入れなくて係員に返してください。



新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は  
特例郵便等投票が利用できます。

詳しくは、青森県選挙管理委員会のホームページでご確認いただくか、お住いの市町村選挙管理委員会にお問合せください。  
特例郵便等投票のご案内：<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/senkan/tokureiyuubin.html>

## 期日前投票

### 10月20日(水)～10月30日(土) 午前8時30分～午後8時

投票日に用事があるなどの理由で投票できない人は、各市役所・町村役場などで期日前投票をすることができます。  
新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

各投票所では、安心して投票できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいます。



- 投票所、期日前投票所にはアルコール消毒液を設置しています。
- 投票管理者、投票立会人、投票所スタッフはマスクを着用しています。
- 投票所内は扉や窓の常時開放、または定期的に換気を実施しています。
- 記載台、鉛筆等不特定多数の方が触れる箇所は、定期的に消毒しています。

投票所に来られる有権者の皆様におかれましても、感染防止対策をお願いします。

- 投票所にお越しの際は、マスクの着用、咳エチケットの実施をお願いします。
- 周りの方との距離の確保にご協力をお願いします。



## 衆議院小選挙区選出議員選挙の選挙区について



- 【第1区】青森市、むつ市、東津軽郡、上北郡（野辺地町、横浜町、六ヶ所村）、下北郡
- 【第2区】八戸市、十和田市、三沢市、上北郡（七戸町、六戸町、東北町、おいらせ町）、三戸郡
- 【第3区】弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡、北津軽郡